

村民の生活を支える地域防災の要として

～平成22年度 東通村消防団定期観閲式～



観閲者の越善村長

四月二十五日（日）、村体育館駐車場において、濱端源三団長指揮のもと、村内二十分団三百五十三名に加え、砂子又婦人消防クラブ、特別参加の下北試験場消防隊が一斉に整列し、越善村長の観閲を受けました。

式では、現況報告・通常点検に続き、勇壮な纏（まとい）振り演技、迅速・正確なポンプ操作が行われ、日頃の訓練の成果が披露されました。

又、長年消防活動にご尽力された団員をはじめ、災害時にご協力をされた一般協力者に対し、表彰状並びに感謝状が贈られた後、全二十分団により一斉に水の弧が描かれた放水演習、海上自衛隊大湊音楽隊の演奏のもと、力強くかつ整然とした分列行進が行われました。

その後、下北地域広域行政事務組合消防本部、吉田市消防



一糸乱れぬ分列行進

長より講評があり、続いて越善村長から各団員に対し「火災件数が減少していることに安心せず、今一度新たな決意をもって、日常における防火思想の啓蒙と、災害の発生に対する日々の準備に努められ、一層精進されるよう願います」と訓示が述べられました。

火災や台風、地震など、非常時の災害に備えて日夜訓練に励む消防団は、私たちが安心して生活できる環境を支えており、村民の信頼と期待が大きいです。

今回表彰された方々を始め、団員の方々の長年の消防活動への取組とご功績、また、一般協力者の皆様のご協力に対し深く感謝いたします。



全20分団による放水演習



小型ポンプ操作



纏振り演技



観閲者に報告する濱端団長



東通村長表彰